

## □ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、「第48回全国小中学校事務研究大会（約2,200人）」や「第56回全国国保地域医療学会（約1,500人）」をはじめとする全国規模のコンベンションが36件開催されました。また、登録選手の参加者数は約1,300人でしたが、応援関係者などが約1ヶ月に渡り来県した「やまがた技能五輪・アビリンピック2016」は、県内の製造業関係者にも様々な波及効果を及ぼしました。年度全体では、参加者50人以上で東北規模以上のコンベンション開催件数は89件で参加者総数26,550人、開催件数は過去10年で最高となりました。

コンベンションの誘致及び支援事業においては、主催キーパーソンを招請し、コンベンション施設など山形の開催環境をご覧いただき、約600人規模の全国大会の誘致に成功しました。また、東京で開催された第26回国際ミーティング・エキスポや東北地区&中国・四国地区合同コンベンション誘致懇談会に参加し、村山広域圏のコンベンション環境をPRし、その後、個別に首都圏の学会・協会本部やキーパーソンへの訪問活動も行いました。開催されたコンベンションに対しては、開催助成金や国際会議へのアトラクションの支援をはじめ、主催事務局へサポートをし、山形らしい大会になるよう支援を行いました。

コンベンションに関する調査及び広報事業においては、地元紙等マスメディアを活用した広報を行うとともに、コンベンション主催者となる山形大学関係者が多く目にする山形大学広報誌に広告を掲載するなど新たな取り組みも行いました。山形国際交流プラザ内には引き続き賛助会員専用の広告スペースを設け、会員情報の提供に努めました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、展示会、研修会等で2,357件の貸出しを行い、来場者数は約52万人となりました。また、昨年度に引き続き開催した山形ビッグウイングフェスティバルでは、15,500人の方から来場をいただくことができました。

事業別活動状況については、次のとおりです。

## □ 事業別活動状況

### 1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

地元の主催団体はもとより、首都圏等の学会・協会本部、事務局を訪問する誘致活動を継続実施、過去の訪問先のデータやグローバル都市連携によるデータを整理し誘致活動に活かした。また、具体的に開催を検討しているキーパーソンを招請し、誘致につながった。

また、支援活動では主催者・事務局をサポートし、助成金やバスを支援するとともに、地元業者の紹介など幅広い支援活動を行った。

#### (1) 誘致事業

平成28年度に開催が決定した平成29年度以降のコンベンションは、下記のとおりである。

開催年度	開催予定件数	参加者総数	うち H28 年度に決定した件数	参加者総数
平成 29 年度	4 8 件	14,700 人	3 3 件	7,170 人
平成 30 年度	2 0 件	9,210 人	1 2 件	2,980 人
平成 31 年度	9 件	5,970 人	9 件	5,970 人
計	7 7 件	29,880 人	5 4 件	16,120 人

上記、平成28年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会 期	開催名称	開催場所	参加者 数	うち 県外者数 (外国人)	規模
平成 29 年 度	6/11～12	6th EES Hands-on Seminar in YAMAGATA (第 6 回内視鏡下耳科手術ハズ'オセミナー in 山形)	山形医学交 流会館	84 人	61 人 (23 人)	国際
	10/23～25	コンピュータセキュリティシンポジウ ム (CSS2017)	山形国際ホ テル	600 人	550 人	全国
	1/24～26	平成 29 年度第 39 回全国都市清掃研 究・事例発表会	山形テルサ	500 人	450 人	全国
平成 30 年 度	5/28～6/1	Heavy Quarks and Leptons2018 (HQL2018)	山形テルサ	100 人	20 人 (80 人)	国際
	6/5～8	High Temperature Superconductors in High Frequency Fields (HTSHFF2018)	たかみや瑠 璃倶楽リゾ ート	60 人	10 人 (50 人)	国際
平成 31 年 度	9/17～20	日本物理学会 2019 年秋季大会	山形大学小 白川キャン パス	1,000 人	970 人	全国

#### ① 誘致訪問活動状況

首都圏・仙台圏など域外の学協会本部・キーパーソン等 23 団体 延べ 25 回訪問

村山広域圏内での誘致活動 22 団体 延べ 49 回訪問

#### ② 東北地区&中国・四国地区合同コンベンション誘致懇談会

期 日 平成 29 年 1 月 31 日 (火)

場 所 東京都 都市センターホテル  
 参加団体 東北地区コンベンション推進協議会会員（17団体）  
 中国・四国地区コンベンション推進協議会（13団体）  
 参加者 首都圏在住の学会事務局等（81団体 131人）

③ 会議主催キーパーソンの招請

開催名称 コンピュータ・セキュリティ・シンポジウム2017  
 期 日 平成28年7月27日（水）・28日（木）  
 招 請 者 東京大学生産技術研究所 教授 松浦幹太 氏  
 内 容 山形市の会場候補ホテルを視察していただいた。  
 この結果、誘致に成功。（平成28年10月決定）  
 会 期 平成29年10月23日～25日  
 会 場 山形国際ホテル（山形市）  
 参加者数 約600人（うち県外約550人）

④ グローカル都市連携

国際会議の誘致に積極的に取り組んでいる地方の都市ビューロー4団体が、それぞれ保有する国際会議データの共有化を図り、より効果的な誘致活動を行う為に連携を始めた。

データベースの構築と各団体保有データの入力作業をし、現在182件のデータが共有され、今後も随時データを増やしている。さらにそのデータから山形で開催の可能性がありそうな団体への訪問活動も実施。

(2) 開催支援事業

① 支援訪問活動状況

首都圏・県内域外への支援訪問活動 1団体 1回訪問

地元各種団体・行政等 87団体 延べ180回訪問

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数	参加者総数	支援総数(※)	参加者総数
平成28年度	89件	26,550人	77件	24,183人
平成29年度	47件	14,570人	44件	13,778人
平成30年度	18件	8,790人	15件	6,450人
平成31年度	10件	6,020人	3件	3,000人
計	164件	55,930人	139件	47,411人

※開催予定件数のうちビューローが支援している件数。

② コンベンション開催用貸切バスの支援

「第 56 回全国国保地域医療学会」をはじめ 14 団体に対し、貸切バスの費用を交付した。

[14 件総額：1,687,460 円]

開催名称	主会場	参加者数	交付実績
第 54 回 IBM ユーザー・シンポジウムさくらんぼ大会	山形テルサ 他	735 人	100,000 円
第 48 回全国公立小中学校事務研究大会 山形大会	山形国際交流プラザ	2,221 人	200,000 円
日本カウンセリング学会 第 49 回大会	山形大学小白川キャンパス	451 人	100,000 円
日本家族看護学会 第 23 回学術集会	山形テルサ	1,132 人	53,100 円
ACOM2016 5th Asian Conference on Mixing	ほほえみの宿滝の湯	86 人	100,000 円
日本ロボット学会学術講演会	山形大学小白川キャンパス	1,108 人	200,000 円
第 9 回国際黄金色藻シンポジウム ICS9	山形テルサ	53 人	75,600 円
第 56 回全国国保地域医療学会	山形テルサ 他	1,450 人	200,000 円
第 35 回全国父母懇談会・私学助成をすすめる会交流集会（山形大会）	ほほえみの宿滝の湯	371 人	100,000 円
やまがた技能五輪（第 54 回技能五輪全国大会）	県総合運動公園、山形国際交流プラザ 他	1,320 人	200,000 円
第 63 回全国芽生会連合会全国大会 山形大会 2016	パレスグランデール 他	160 人	66,960 円
アビリンピック 2016（第 36 回全国障害者技能競技大会）	県総合運動公園、山形国際交流プラザ 他	350 人	100,000 円
「いい井戸の日 2016in 東北」（一社）全国さく井協会 平成 28 年度臨時社員総会	山形グランドホテル	160 人	91,800 円
ファザーリング全国フォーラム in やまがた	山形国際交流プラザ	1,000 人	100,000 円

③ コンベンション開催助成金

「第 48 回全国公立小中学校事務研究大会 山形大会」をはじめ 10 団体に対し、山形県・山形市・寒河江市・天童市の制度を利用し助成金を交付した。

[10 件総額：7,046,000 円]

開催名称	主会場	参加者数 (交付対象)	交付実績
第 54 回 IBM ユーザー・シンポジウムさくらんぼ大会	山形テルサ 他	735 人 (513 人)	769,500 円
第 5 回内視鏡下耳科手術ハンズオンセミナー in 山形	山形大学医学部	84 人 (国内 61 人:国外 7 人)	130,000 円
(一社)“人間と性”教育研究協議会 夏期セミナー	山形テルサ 他	411 人 (200 人)	300,000 円
第 48 回全国公立小中学校事務研究大会 山形大会	山形国際交流プラザ	2,221 人 (1,320 人)	1,980,000 円
日本家族看護学会 第 23 回学術集会	山形テルサ	1,132 人 (367 人)	550,500 円
ACOM2016 5th Asian Conference on Mixing	ほほえみの宿滝の湯	86 人 (国内 30 人:国外 40 人)	265,000 円

日本ロボット学会学術講演会	山形大学小白川キャンパス	1,108人 (589人)	883,500円
第56回全国国保地域医療学会	山形テルサ 他	1,450人 (788人)	1,182,000円
第35回全国父母懇談会・私学助成をすすめる会 交流集会（山形大会）	ほほえみの宿滝の湯	371人 (308人)	462,000円
2016年日本リハビリテーション心理学会 学術 集会第42回心理リハビリテーションの会 全国 大会（山形大会）	山形国際ホテル	600人 (349人)	523,500円

④ 山形空港、山形駅、天童駅に歓迎看板を掲示

山形空港と開催地の最寄り駅や会場等34件の国際・全国規模のコンベンションに対し歓迎看板を掲示し参加者を出迎えた。

⑤ コンgressバッグやネームホルダーの提供

会議主催者が参加者に配布するコンgressバッグを32件の主催者に合計7,360袋を支援した。なお、主催者からは、1袋50円の負担をいただいている。また、44件の主催者にネームホルダーによる支援を行った。

⑥ 主催者向け便利ツールの提供、その他の支援

主催者向け便利ツールや山形県や開催地が制作する観光パンフレットを提供するとともに「山形紹介DVD」の貸出を行い、主催者を支援した。

## 2 コンベンションに関する調査及び広報事業

「国際ミーティング・エキスポ」に出展し、村山広域圏の宣伝を行った。また、主催者・参加者に好評な山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」を制作し配布、Web版の展開やスマートフォン用アプリ「やまがたMICEなび」などIT関連ツールも活用した。

### (1) 調査事業

① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

大学・行政・各種団体・施設（合計301ヶ所）に対し調査を実施し、28年度以降の開催予定について、延べ74件の情報を得た。

② コンベンション動向等に関する調査研究

コンベンションネットワーク会議の開催

期 日 平成28年9月30日（金）

場 所 村山市「東沢バラ公園・バラ交流館」

内 容 情報交換及び秋のバラまつり視察。

③ コンベンション地図及び交通アクセスデータの更新

主催者等に提供するコンベンション地図データ及び7市7町までの交通手段や

時間を記載した交通アクセスデータを更新した。

④ 各種会議への参加(主なもの)

- ・平成28年度JNTO MICEセミナー  
期 日 平成28年5月24日(火)  
場 所 東京都 都市センターホテル
- ・平成28年度JCCB第1回ビューロー部会  
期 日 平成28年7月28日(木)～29日(金)  
場 所 岐阜市 長良川国際会議場
- ・東北地区コンベンション推進協議会定例総会  
期 日 平成28年8月25日(木)・26日(金)  
場 所 鶴岡市 東京第一ホテル鶴岡
- ・東北地区コンベンション推進協議会職員研修会  
期 日 平成28年10月27日(木)・28日(金)  
場 所 福島市 A・O・Z
- ・平成28年度JCCB第2回ビューロー部会  
期 日 平成29年2月16日(木)～17日(金)  
場 所 京都市 メルパルク京都

(2) 広報事業

① 第26回国際ミーティング・エキスポへの出展

- 期 日 平成28年12月6日(火)・7日(水)
- 場 所 神奈川県 パシフィコ横浜
- 出展者数 154団体・企業(共同出展団体・企業含む) 129小間
- 来場者数 2,791人(2日間合計)
- 実 績 山形ブース来場者 63団体72人  
(コンベンション主催者等)

関連会議への出席

- IME実施アドバイザー委員会(東北地区の代表として参加)
- 第1回 平成28年6月15日(水)
- 第2回 平成28年9月7日(水)
- 第3回 平成29年3月22日(水)

② ホームページ等による情報発信

ホームページを活用しビューローの活動や支援制度の紹介やコンベンション開

催情報・関連情報（観光、賛助会員、コンベンション地図、交通アクセスデータ）等を提供するとともに、県外参加者向けに山形の天候などの情報も提供した。

また、facebook ページも開設し、より迅速に親しみやすい内容で情報を発信した。

③ 山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の企画・制作および配布

コンベンションの参加者に配布するため、山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」を50,000部制作（冊子とweb版）、地元の飲食店・宿泊・交通・観光レジャー情報などを発信した。

さらに、70件のコンベンション主催者へ約19,400部を提供、その他掲載店や関連施設等でも配布した。

{掲載内容：128頁、広告掲載店184店（397枠）}

④ やまがたMICEなび・アプリ更新

コンベンションの参加者（旅行者）や主催者用のコンテンツで構成した、スマートフォン、タブレット用のアプリケーション（アプリ）「やまがたMICEなび（無料）」の情報を更新し、村山広域圏の情報を発信した。

⑤ JR山形駅自由通路ショーケースを活用した広報

山形駅自由通路に設置されたショーケースを活用し、カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなどし、開催されるコンベンションを周知した。

⑥ プラザ内、村山広域圏観光物産展示コーナーの常設展示

村山広域圏観光物産展示コーナーにおいて、様々な観光・物産などを紹介した。

⑦ 理事長による国際会議誘致メッセージ動画の作成と配信

都市間競争が激しい現代において、より誘致意欲を表すため、組織のトップ自らの言葉で誘致メッセージを発信した。

⑧ ビューロー事業活動の広報

・機関紙「ルネッサンス」の発行

年2回（7月、1月）発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。

・マスメディア等を利用した広報事業

新聞等広告掲載 3回

ラジオCM 2局

山形大学広報誌への広告掲載 2回

賛助会員の広告 プラザ内に広告スペースの提供

- ・山形空港での電飾看板の掲示

山形空港の到着口に電飾看板を掲示しビューローの広報を行った。

### 3 山形国際交流プラザの管理運営事業

#### (1) 28年度の利用状況など

年間施設利用料が過去最高の実績となり、昨年度と比較すると約21%増加した。

##### ① 年間利用件数

(単位：件)

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
展示棟	137	133	114
会議棟	2,158	2,327	2,313
その他	62	63	54
合計	2,357	2,523	2,481

##### ② 年間来場者数

(単位：人)

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
来場者数	511,908	422,135	455,852

開館以降来場者数累計 15,590,257人

##### ③ 年間施設利用料

(単位：円)

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
利用料	191,830,590	158,757,699	155,912,310

#### (2) 安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。

また、山形ビッグウイングフェスティバル開催時においては、関係者に向けた緊急時の対応について事前に説明するなど危機管理の徹底に努めた。

#### (3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

身障者用駐車スペースの増設や展示棟準備室内に机、椅子を設置するなど、利用者サービスの向上に努めた。また、施設内照明を段階的にLED化し、節電や省エネに努めた。

① 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺い、改善できるものについては速やかに対応した。

期 日：平成28年11月24日（木）

場 所：山形国際交流プラザ会議室

参加者数：14人

② モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。

それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

<主催者対象>

調査期間：平成28年9月1日～30日

配布枚数：170枚（回収率：52.9%）

③ 全国展示場連絡協議会の運営

平成28年度は当施設が同協議会会長施設となっており、山形市で開催した実務担当者会議においては、全国33施設から参加をいただいた。

<総会>

期 日：平成28年4月26日（火）

場 所：千葉県 幕張メッセ

<実務担当者会議>

期 日：平成28年10月13日（木）～14日（金）

場 所：山形市 パレスグランデール

<北海道・東北ブロック会議>

期 日：平成28年11月10日（木）

場 所：福島県 ビッグパレットふくしま

(4) 自主事業の実施

① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して行われたもので、この度で3回目の開催となった。

「食」をテーマとした村山広域圏（7市7町）うまいものフェアを開催し、物産品・名産品等の販売やPRを行った。

共催事業として、山形市伝統的工芸品まつり、みちのくこけしまつり、山形らーめんフェスタを開催した。

期 日：平成28年12月3日（土）・4日（日）

場 所：山形国際交流プラザ 展示場234

来場者数：15,500人

#### ② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行った。

期 日：平成28年6月24日（金）

場 所：山形国際交流プラザ 国際交流広場

参加者数：275人

#### ③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、草木染などの展示を行った。

#### ④ ピアノ de シネマの開催

映画が誕生した初期の頃上映されていたサイレント映画にピアノの生演奏を付けた上映会を、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。

期 日：平成29年1月28日（土）

場 所：山形国際交流プラザ 大会議室

来場者数：201人

### （5）利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を訪問した。

また、首都圏の展示会主催者等を対象に、夢メッセみやぎ（宮城県）、山形ビッグウイング（山形県）、ビッグパレットふくしま（福島県）の3施設による南東北3県展示会場首都圏合同説明会を開催した。

## 4 総務

### （1）理事会・評議員会等

① 監事監査

開催日 平成28年4月27日（水）

開催場所 山形国際交流プラザ

監査内容 平成27年度事業報告等、平成27年度計算書類等、平成27年度  
公益目的支出計画実施報告

② 第1回通常理事会

開催日 平成28年5月16日（月）

開催場所 山形グランドホテル

決議事項 平成27年度事業報告及び同附属明細書の件、平成27年度計算書  
類及び同附属明細書の件、平成27年度公益目的支出計画実施報告  
の件、評議員会の日時及び場所の件、評議員会の目的事項の件

報告事項 平成28年度業務執行状況の件

③ 定時評議員会

開催日 平成28年6月6日（月）

開催場所 山形グランドホテル

報告事項 平成27年度事業報告の件、平成27年度公益目的支出計画実施報  
告の件

決議事項 平成27年度計算書類の件、理事の選任の件

④ 第2回通常理事会

開催日 平成29年3月23日（木）

開催場所 ホテルメトロポリタン山形

報告事項 平成28年度第1回理事会以降の事業執行状況の件、給与規程一部  
改正の件

決議事項 平成29年度事業計画の件、平成29年度収支予算の件、就業規則  
の一部改正の件、給与規程の一部改正の件、事務局長の選任の件

(2) 人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、各種研修に参加し職員  
の能力開発を図った。

主なもの

① 一般・公益法人講習会

期 日 平成28年7月4日（月）・5日（火）

場 所 東京都 全国町村会館

② 中堅社員研修

期 日 平成28年7月14日(木)・15日(金)

場 所 東京都 第2龍名館ビル

③ 平成28年度自衛消防隊リーダー研修会

期 日 平成28年10月18日(火)・19日(水)

場 所 山形県東田川郡三川町 山形県消防学校

(3) 自衛消防総合訓練の実施(年2回)

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体となって実施した。

期 日 1回目 平成28年 6月23日(木)

2回目 平成28年12月14日(水)

(4) 各部門の収支概要

① コンベンション・総務部門

収入	59,983,192円(A)
支出	59,711,184円(B)
当期収支差額(A)-(B)	272,008円(C)
前期繰越収支差額	12,983,766円(D)
次期繰越収支差額(C)+(D)	<b>13,255,774円</b>

② ビックウイング部門

収入	242,987,020円(A)
支出	212,801,796円(B)
当期収支差額(A)-(B)	30,185,224円(C)
前期繰越収支差額	30,926,146円(D)
次期繰越収支差額(C)+(D)	<b>61,111,370円</b>

③ 全体

収入	302,970,212円(A)
支出	272,512,980円(B)
当期収支差額(A)-(B)	30,457,232円(C)
前期繰越収支差額	43,909,912円(D)
次期繰越収支差額(C)+(D)	<b>74,367,144円</b>